



県立延岡高校の2年生が「山桜プロジェクト(探究学習)」発表会を実施！

2月1日(月)に、延岡高校普通科2年生(164人)による「山桜プロジェクト(探究学習)」の発表会が実施されました。

5月からスタートしたこの探究学習は、延岡市の長期総合計画をもとに、地域の課題解決への提言を行うことを目標に探究的な活動が進められてきました。

探究学習を進めるに当たっては、延岡市役所の若手職員(7人)が毎月1回学校に出向き、対話による指導と助言を積み重ねてきました。また、延岡市商工観光部(工業振興課)と県キャリア教育支援センターも対話によるサポートを行ってきました。

発表会では、校内で選ばれた7チームが読谷山市長に提言を行い、市長からは「いずれもの射を射ていて延岡をよくしていける提案をいただいた。実際の市政において参考にしていきたい。」と講評をいただいたそうです。

<発表会における提言タイトル>

1. (教育) 学力(特に英語)が上がることによって人口も増えるのではないかな
2. (観光) 仕事ができ、親子で楽しめる場所
3. (駅まち) Creation Nobeoka 私たちで創る延岡の未来
4. (食・農) 企業を通じての延岡発展について
5. (医療・福祉) すべての人が幸せに老後を過ごすために
6. (産業・工業) 延岡の学生に仕事を知ってもらおう
7. (産業・工業) 延岡に活気を! 商店街プロジェクト!



宮崎市立生目南中学校で「自分にとっての幸せ」を考える授業が行われました！

3月8日(月)に、宮崎市立生目南中学校で「自分にとっての幸せ」を考える授業が行われました。

授業は、3年生を対象として行われ、県キャリア教育コーディネーターをファシリテーターとして、将来を幸せに生きることについて、働くこととの関係を考えながら、登壇者の生徒3人と会場の生徒が意見交換をとおり学びを深めていきました。

授業では、県キャリア教育支援センターが作成して、ホームページにアップしている「よのなか先生」の動画コンテンツも活用され、生徒のみなさんは、興味深く視聴していました。

授業の最後には、将来の幸せのために「今、自分がすべきこと」について、ワークシートを用いてじっくり考える時間が設けられました。

3年生のみなさんは、ちょうど次のステージに向かう節目を迎えている時期で、それぞれ自分の人生について真剣に考えることができたようです。



「令和2年度地域学校協働活動県民フォーラム」を オンデマンドで配信中です！

キャリア教育は、学校の授業だけで行われるものではありません。

子どもたちは、地域においても、様々な方々とのふれあいを重ねながら、社会的・職業的自立に向けた能力や態度を身につけていきます。

地域と学校が連携・協働し、目的や目標を共有して行われる「地域学校協働活動」について、県内の優秀実践を紹介する「地域学校協働活動県民フォーラム」ですが、今年度は感染症拡大防止のため、集合して研修を行うことができませんでした。そこで、今回、優秀実践を紹介する動画コンテンツを作成し、宮崎県教育研修センター YouTubeチャンネルにアップしました。

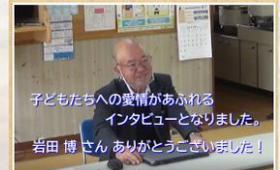
動画コンテンツの内容は、前年度地域学校協働活動教育長表彰を受賞された実践の中から、川南町川南西地区自治公民館子ども見守り隊 岩田 博さんと小林市細野まちづくり協議会 内村文彦さんのお二人へのインタビューです。

地域で行われる多様な活動の中で、子どもたちの人間関係形成・社会形成能力などが少しずつ養われていくのですが、お二人のインタビューからは「具体的にどのような活動を行っているのか」や「活動を支えている方々はどんな思いをもって活動しているのか」について知ることができます。

動画は、各自でご覧いただくほか、各種研修会でも是非ご活用ください。



宮崎県教育
研修センター
YouTubeチャンネル
QRコード



子どもたちへの愛情があふれる
インタビューとなりました。
岩田 博さん ありがとうございます！



子どもたちと地域の大人が一緒に楽しみながら
地域づくりを行うなど参考になりました。
内村 文彦さん ありがとうございます！

コーディネーター活動報告

報告者：水永正憲



2月12日（金）に飫肥中学校2年生の「立志式」に参加してきました。

飫肥中学校の2年生のみなさんは、1年間を通して「働くこと」について考えを深め、「働くこととは？」というテーマで発表会を行い、講師を交えた「キャリア教育ワークショップ」等を通じて考えを共有しているそうです。

立志式では、校長先生の話の後に、「太郎の手紙への返事」（将来はお笑い芸人になりたいと夢をもっている太郎。勉強は嫌いなので勉強なんかしなくたってお笑い芸人にはなれるよね、勉強の意味がわからない、と問いかける太郎に親の立場から返事を書くという活動）を生徒代表の6人が発表しました。

また、式では、生徒全員が一人ずつ「誓いの言葉」を述べ、「立志式」と題した冊子には、全員の「自分のこれからの生き方についての決意」や「太郎の手紙への返事」が掲載されていました。

式の中で私も「君たちはどう生きるか」と題して、講話をさせていただいたのですが、後日、生徒のみなさんから感想をいただきました。どれも素敵な感想でしたが、その中の一つをここで紹介させていただきます。

自分にとって本当に大事なことは、友達がいることです。友達をなくしたら、話し相手などもなくなるし、自分が幸せにならないと思います。なので、友達をなくさないように困っていたら助け合ったり、相手を思いやる行動をとっていきます。友達が悩んでいたら相談したり分からないことを教えたりしながら、仲を深めていきたいなあと思います。友達は、自分が幸せになれる存在なので、しっかり思いやりながら生きていきます。